

2020/10/05 (月)

朝の礼拝

聖書 列王記上 5章24-26節 (旧約聖書535頁)

24 こうしてヒラムはソロモンの望みどおりレバノン杉と糸杉の木材を提供し、25 ソロモンはヒラムにその家のための食糧として、小麦二万コルと純粹のオリーブ油二十コルを提供した。ソロモンは同様のものを毎年ヒラムに提供した。26 主はその約束のとおり、ソロモンに知恵を授けられた。ヒラムとソロモンの間には平和が保たれ、二人は条約を結んだ。

レバノン杉

イエスは古代イスラエルのソロモン王を「栄華を極めたソロモン」と表現しました。確かにソロモン王は歴代の王の中で最も知恵にあふれ、貿易により莫大な富を得て、父ダビデの悲願だった神殿と宮殿を都エルサレムに建立したのでした。

ソロモンは建築資材として隣国ティルス王ヒラムからレバノン杉と糸杉を手に入れました。特に芳醇な香りを放ち、頑丈なレバノン杉は神殿や宮殿にふさわしい木材でした。しかし荒涼とした荒野の広がる中東では貴重な森林でした。人類は文明と共に森林を濫伐し、自然環境を破壊してきたと言えます。

いま「地球の肺」と呼ばれた南米のアマゾン川流域の森林、北米のカリフォルニアからワシントン州へつながる西海岸、オーストラリアのオセアニア大陸、そして熱帯雨林の広がるインドネシアのスマトラ島では開発による伐採や気候変動による火災が広がり、豊かな森林は失われてしまいました。いま新型ウイルスで「人間の肺」が脅かされていますが、そもそも地球が呼吸困難な状態です。

でも、同時にインドネシアのボルネオ島（カリマンタン島）では、奇跡的な森林の再生が実現し、森を追われて孤児となったオランウータン（森の人）を森へ返すプロジェクトも行われています。

神様は命の木をぞんざいに扱っている私たちに、現実から目をそらさずに見つめ、未来を望み、信じ、互いに愛し合いなさいと励まされているのではないのでしょうか。

（しばらく黙祷しましょう）

祈禱 祈りましょう

わたしたちを愛し、励まされる主よ。あなたは天地創造の時、エデンの園の中央に命の木と善悪の知識の木を生えいでさせられました。人間はあなたの戒めを守らず善悪の知識の木を食べました。しかし、人間をエデンの園から追放し、命の木を守られました。どうか、わたしたちが与えられた知識と知恵を、あなたの御心に適うように献げ、共に命の木を守るができるように導いて下さい。どうか、今日一日もすべてをあなたに委ね、学び合うことができますように。主イエス・キリストによってお願い致します。アーメン